

西公園

山形地区地球温暖化対策緑地



 山形市

鉱さいの処分場は市民のいこい・やすらぎの場として
緑豊かな公園に生まれかわりました。

西公園ができる前は田畑として利用されていましたが、平成8年から平成11年にかけて、山形駅西の開発で発生した鉱さいの処分場として埋め立てが行われました。鉱さいは環境に影響を及ぼさないよう安全に処理されています。



公園概要(地球温暖化対策緑地建設譲渡事業)

この事業は、環境事業団(現在、独立行政法人環境再生保全機構)の事業として地球温暖化やヒートアイランド現象の緩和に役立つ緑地を整備することを目的に創設された事業で、山形市と譲渡契約し整備したものです。

公園の位置

山形県山形市大字門伝地内

公園面積

約15.6ha

整備期間

平成12年10月6日～平成17年 3月31日

事業費

約59億円

主な施設

パークセンター、屋内多目的コート・クラブハウス、
テニスの森、遊びの森、どんぐり工房、芝生広場、
のびのびガーデン(足湯)、いも煮広場、キャンプ場など

位置図



JR山形駅より西へ約4km
清川 門伝橋北側

問い合わせ先

●西公園/パークセンター
〒990-2342
山形市大字門伝字落合河原3114-10
電話 023-643-2450
FAX 023-643-2456

●山形市まちづくり政策部公園緑地課
〒990-8540
山形市旗本町2-3-25
電話 023-641-1212
FAX 023-624-8445

環を育む公園

西公園は、二酸化炭素を吸収・固定するという緑のはたらきに着目し、地球温暖化防止に貢献する緑豊かな公園として整備したものです。

豊かな緑とそこに住むいきものについての環境学習や、緑の中での健康づくりなど、いろいろな活動に利用できる場所を、みなさんの参加によりつくり出し、「みどり・ひと・いきもの」との環を育む公園としました。



どんぐりから苗木を育て
みんなで植えました。



公園で発生した木の枝や幹を
木チップにして有効利用します。



屋内多目的コートの屋根には大きなソーラーパネルがついていて、たくさんの電気をつくっています。

